



大手通坂之上町地区再開発事業

(仮称)

# 米百俵プレイスから 始まる新たな未来

連載 最終回

## その八 産業 振興

かつて先人は未来を見据え、長岡のまちの礎を築きました。そして今も同じ志を持って活躍する人がいます。次代を担う若者たちにその想いを伝え、未来へとつなぐ「米百俵プレイス(仮称)」への期待の声と魅力を紹介します。

岡中心市街地整備室 ☎ 39・2807

## 戊辰戦争の戦禍から まちを近代化した功労者



### — 長岡復興の恩人 —

みしま おくじろう  
**三島 億二郎**

文政8(1825)年～明治25(1892)年

河井継之助、小林虎三郎と共に長岡の“維新の三傑”と呼ばれ、多くの人に慕われた。

長岡のひとづくり、まちづくりの礎を築いた人。  
長岡藩士の家に生まれ、河井継之助、小林虎三郎と同時期に江戸で学びました。  
戊辰戦争では、非戦を主張するものの、親友・河井の懇願により参戦。戦後は、小林と共に長岡復興の重責を担いました。  
商人・岸宇吉との意気投合により生まれた「ランプ会」では、士族と商人が身分を超え集結。殖産興業を推進し、新しい時代の商工業の展望を語り合いました。  
長岡洋学校(現・長岡高等学校)、長岡会社病院(現・長岡赤十字病院)、第六十九国立銀行(現・第四北越銀行)などを設立。福沢諭吉、渋沢栄一とも交流し、長岡の近代化に尽力しました。

### 産業界の新たな成長を生む場に

私が米菓の製造・販売に携わっていた35年前、国内に4,000社以上もあった米菓企業は今、300社程度にまで減っています。  
産業界は時代の流れや経済環境の変化を受ける、生き残りが非常に厳しい世界。商工会議所の役割も、企業の経営支援や人材育成など年々多様化しています。そんな中でも変わらぬに持ち続けなければならぬ理念があります。  
それは、産業界全体で切磋琢磨しながら、互いを助け合



長岡商工会議所  
会頭

丸山 智<sup>さとし</sup> さん

平成21年4月から第13代会頭に就任。会員企業2,480社と共に、地域の産業発展に取り組む。新潟県米菓工業協同組合の顧問も務める。

う心。そして実際の体験を重んじる現場主義の考えです。  
米百俵プレイスでは、経験豊富な経営者から小さな子どもまで幅広い層が集い、刺激的な体験を共有してほしいです。企業同士が自慢の技術を紹介したり、業種や世代を超え議論や研究を進めたりすることで、企業の新たな挑戦や若者の起業もさらに活発になるはず。市と共に、米百俵プレイスを長岡の産業界に新たな成功や発展をもたらす拠点にしていきたいです。

米プレ  
こんなトコ

支援と交流機能を併せ持つ、  
産業界の新たな拠点



長岡商工会議所のほか、雇用支援機関、市商工部などの産業支援機関が令和7年に移転。産業支援と交流機能を併せ持つ産業界の新しい中核施設です。企業や市民が新しい時代の展望を語り合う場であり、関係機関が連携して支えます。



▲関係機関と共に行う新型コロナウイルス関連の事業所向け総合相談窓口

※8回にわたる本連載をご覧いただきありがとうございました。今後、再開事業の名称募集を行います。みなさんのご応募をお待ちしています(23ページもチェック)